

子どもたちが幸せに生きる熊本に！

熊本県議会議員 つつみ泰之活動報告

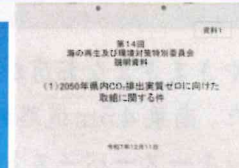
つつみ @ 通信



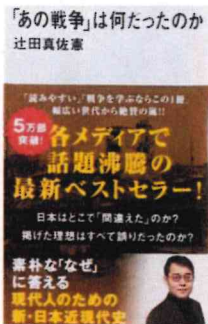
あけましておめでとうございます！昨年も多くの方に支えていただき心より感謝申し上げます。11月16日に大腸穿孔手術を受け25日に退院。28日からの11月定例県議会には何とか間に合いました。術後の経過は順調で、12月半ばには食事制限も解除され、少しずつ諸々の活動を再開しています。日々の食事の大切さを悟るとともに、志を全うする為にはただがむしゃらに走るだけはいけないと気づきました。前回の県議選からもうすぐ3年、来年には次の審判が待っています。日本を背負う次世代を育て、愛する故郷がいつまでも暖かく、美しくあり続けることができますよう今年も頑張ります。

【11月28日～12月19日 令和7年度11月定例県議会】

11月28日より11月定例県議会が開会されました。主な項目としては令和7年8月豪雨からの復旧に係る補正予算審議、政府の緊急経済対策予算審議と総務委員会において熊本県国土強靱化計画、熊本県過疎地域持続的発展方針の策定、熊本県山村振興基本方針、熊本県公共交通計画についての審議、3件の付託請願審査、海の再生及び環境対策特別委員会において2050年県内CO2排出ゼロに向けた取り組みに関する件でした。次回は2月です。



書籍紹介



『「あの戦争」は何だったのか』

辻田真佐憲/著

戦後80年を迎え、戦争を語れる世代がいなくなりつつある現在、時代や立場により大東亜戦争や太平洋戦争と呼称された先の戦争は「いつはじまり」「日本はどこで間違え」「何だったのか」という核心的な問いに答えようと筆者が挑む本書。大きく変化する国際情勢の中で、日本人が再び日本人としてのあり方を決めねばならない時代にこそ必要な問いであり、新たな時代への覚悟を決める為の基礎となる物語です。

今月の数字

熊本県の家庭部門の温室効果ガス削減量

-38.9% (2013年→2022年)

2022年度の県の家庭部門の温室効果ガス排出量は約205万t-CO2で基準年となる2013年比38.9%減でした。使用量の約8割が電気であることが特徴でエネルギーそのものの使用量は-14.5%に留まり今後は諸エネ家電への転換や断熱リフォームの普及促進が重要です。そのためにも認知度が35%の「くまもと・ゼロカーボン」の取組みを向上に務めるとともに認知している人に行動につなげてもらう必要があります。熊本県は広告媒体を通じた普及啓発や中学生向け教材の作成等を通じて温暖化対策を進めています。

製作者：つつみやすゆきプロフィール 1974年7月7日 熊本市中央区水前寺のツツミ薬局の5人兄弟の長男に生まれる。

[学校]託麻原小、帯山中、熊本学園大学付属高校、熊本YMCA学院建築科卒

[経歴]現場監督から建築設計事務所勤務を経て、福岡の不動産会社に勤務。平成18年に開業・現職

2022年5月の熊本県議会議員選挙熊本市第一選挙区補欠選挙にて20033票で初当選、2023年4月、10,789票で2期目当選

[資格]宅建士・宅建マイスター・不動産コンサルティングマスター(相続対策専門士)・2級建築士・CFP(国際認定FP資格)・防災士